



「花粉症には

初期療法と継続投与で」

今年から眼科疾患のコラムを執筆することになりました。手短に解かりやすい掲載を心掛けますが、ご不明な点は来院時に質問して頂ければ幸いです。

初回は花粉症との付き合い方についてです。

季節性のアレルギー性結

膜炎は、スギ花粉が有名ですが、自覚症状は2月から3月、暖かい日が続くと顕著になります。自覚症状が出てからの眼科受診では遅く、よい対処法は「初期療法」です。自覚症状が出る前に一定期間、抗アレルギー薬を使用します。これは他の季節性結膜炎にも有効です。薬の使用開始時期は例年、1月後半、遅くても2月か

らです。その後、症状が出ても初期療法により軽くなります。市販の点眼薬や内服薬を使用するよりも、眼科の診察を受けて処方箋をもらってください。また症状が治まったからといって、勝手に薬をやめない事です。よくなったと言われる方の結膜を診察すると、まだ腫れている事が多いのです。

眼アレルギー疾患は、自覚症状がなくても小さな腫れは持続しています。継続した薬の投与で反応を抑えておかないと季節性から通年性の結膜炎となり、花粉以外の別の刺激で同様の反応がおこり症状が出ます。現在、何らかの眼アレルギー症状を持つ患者さんは全国に2千万人以上と言われています。立派な国民病です。



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30 13:00	○	○	○	○	○	○	/
16:00 19:00	○	手術	○	/	○	/	/

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズIIビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

